

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																												
水戸経理専門学校	昭和57年4月1日	八文字 典昭	〒 310-0812 (住所) 茨城県水戸市浜田2丁目16番18号 (電話) 029-221-8771																																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																												
学校法人八文字学園	昭和57年4月1日	八文字 和宏	〒 310-0812 (住所) 茨城県水戸市浜田2丁目16番12号 (電話) 029-221-8800																																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																																											
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル学科	平成26年文部科学省 認定	-																																											
学科の目的	ホスピタリティ豊かな人間教育を基盤とし、確かな専門技術を身につけ、ブライダル、ホテル業界に貢献できる人材育成を目的とする。																																														
認定年月日	平成26年3月31日																																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																								
2年	昼間	1800	720	0	378		702																																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																										
80人	42人	0人	3人	0人	3人																																										
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: A,B,C,Dで評価し、Dは不可とする 評価の方法: 学年末試験、実習の成果、成果物の提出等、履修状況を総合的に勘案して行う																																											
長期休み	■学年始: 4月1日～4月8日 ■夏季: 7月19日～8月31日 ■冬季: 12月19日～1月6日 ■学年末: 3月1日～3月31日		卒業・進級条件	進級要件: 32単位(900時間)修得 卒業要件: 63単位(1800時間)修得																																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任との面談、三者面談、家庭訪問 等		課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 校外清掃などの地域ボランティア																																											
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) ブライダル業界、ホテル業界 等 ■就職指導内容 履歴書&エントリーシート作成アドバイス、面接対策、筆記試験講座、企業訪問マナー、卒業生の講座等に加えインターンシップの導入による現場実習を取り入れている。 ■卒業生数 23 人 ■就職希望者数 23 人 ■就職者数 23 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (令和 4 年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国家検定3級ブライダルコーディネーター技能検定</td> <td>②</td> <td>学科 15人 実技 19人</td> <td>学科 15人 実技 15人</td> </tr> <tr> <td>ウエディングプランナー</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>13人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>ホテルビジネス実務検定B2</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>ホテルビジネス実務検定B1</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 一般財団法人 日本ホテル教育センター 優秀指導校賞 表彰				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	国家検定3級ブライダルコーディネーター技能検定	②	学科 15人 実技 19人	学科 15人 実技 15人	ウエディングプランナー	③	18人	18人	ドレスコーディネーター	③	13人	13人	ホテルビジネス実務検定B2	③	16人	15人	ホテルビジネス実務検定B1	③	5人	5人																
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																												
国家検定3級ブライダルコーディネーター技能検定	②	学科 15人 実技 19人	学科 15人 実技 15人																																												
ウエディングプランナー	③	18人	18人																																												
ドレスコーディネーター	③	13人	13人																																												
ホテルビジネス実務検定B2	③	16人	15人																																												
ホテルビジネス実務検定B1	③	5人	5人																																												
中途退学の現状	■中途退学者 3名 令和4年4月1日時点において、在学者42名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者39名(令和5年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 等 ■中退防止・中退者支援のための取組 学生との個別面談および保護者を交えての三者面談の実施		■中退率 7%																																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 による減免 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL																																														
当該学科のホームページURL	https://www.mito.ac.jp/business/																																														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ホテル産業は2000年代以降、大都市を中心に目覚ましく発展を遂げ多様な宿泊産業が展開していった。コロナウイルス感染症により激変した旅行業・宿泊業の動きを踏まえ、企業等の連携により現場で活かせるホスピタリティ精神を修得し、お客様の満足度を高めるサービスを提供できるように実践的な授業を展開する。ブライダル業界においては、少子化の影響もあり国内婚姻件数は緩やかな減少傾向にあるが、近年では結婚式のあり方が変化しており大規模帯の式から小規模帯の式やフォトウエディングなど様々なニーズに適應していく必要がある。本学科では県内ウエディングの各種業界、団体、企業と密に連携をとり現場の意見を取り入れたカリキュラム編成を行い、より高い現場力の向上を実現している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育水準の維持向上を目的として、関連する業界団体等と連携し、実践的な教育課程の編成や授業方法、実習指導等の改善・見直しのために必要な提言等を行うものとし、提案された内容は教務委員会で検討し最終的にカリキュラムに導入するかを決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年3月31日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
二川 泰久	株式会社日東 代表取締役社長	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	③
篠原 勉	篠原税理士事務所 所長	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	③
小川 哲	大関税務会計事務所 公認会計士 税理士	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	③
大部 昇	サンライト旅行合同会社 相談役	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	③
田中 邦彦	カメラのタナカ 店主	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	③
藤田 卓也	株式会社 フジタビジネスマシズ 代表取締役	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	③
八文字 典昭	水戸経理専門学校 学校長	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	—
渡辺 修身	水戸経理専門学校 診療情報管理学科 学科長	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	—
渡邊 肇	水戸経理専門学校 経営経理学科 学科長	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	—
橋本 裕美	水戸経理専門学校 医療秘書学科 学科長	令和4年4月1日～令和5年10月31日(1年7か月)	—
鈴木 菜未	水戸経理専門学校 ブライダル学科 学科長	令和4年4月1日～令和5年10月31日(1年7か月)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年8月19日 14:00～15:00

第2回 令和5年3月23日 14:00～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

さらなる現場力の向上を目的として、地元ホテルとの連携を強化し1科目分の現場実習を令和2年度のカリキュラムより導入し、水戸市内のホテルでプランナー業務を中心に実践力を身に付けている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ホテル、ブライダル業界発展のために、常に企業等との連携を密にして学校教育に反映できるようにし、実践的で効率的な能力を育成できる環境づくりを行っている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目担当教員と企業等の講師が常に連携し、授業内容、生徒の学習成果を評価指標について定め、担当教員が日常的な指導をしつつ企業等の講師が中間的な評価や専門性の高い技術指導を行い、担当教員と企業の講師が連携しながら授業運営を行い、企業等の講師の学習成果の評価を踏まえ、担当教員とともに成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習	ホテルにおける各部門スタッフによる講演及び実演を含めた研修(料飲部門、宿泊部門、ブライダル部門、レストラン部門 等)	株式会社 伊勢基本社 水戸プラザホテル
ブライダル実習Ⅰ	結婚式・披露宴におけるプランナー業務を中心として、現場での実践力を身に付ける。	株式会社 フロンティア水戸
イベントプロデュース実習Ⅰ	ホテル・結婚式場における接客サービスを学び、結婚式披露宴・宴会での実習を通し実践力を身に付ける。	有限会社 ファインサービス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員の研修は、研修規程第1条第2号に基づき、現在就いている職、または将来就くことが予想される職の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その他の遂行に必要な教員の能力、資質等を向上させることを目的とし、研修規程第1条に基づき、学校長が研修の必要性を把握し、研修計画を立て、その研修計画に基づく研修の実施に努め、当該教員が適切な研修を受けられるように調整、助言を行う。教員は職業に関連した実務に関する知識、技術の習得、授業及び生徒に対する指導力の向上を目的とした研修を受講する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	「ブライダル講師のための勉強会」	連携企業等:	ウエディングビューティフル協会
期間:	令和4年8月25日(木)15:00～16:30	対象:	学科教員
内容	オンラインにて実施(コンセプトウエディングを手掛けるスペシャリスト)		
研修名:	「ブライダル講師のための勉強会」	連携企業等:	ウエディングビューティフル協会
期間:	令和5年3月23日(木)15:00～16:30	対象:	学科教員
内容	オンラインにて実施(ブライダジュエリー業界へ進むための知識)		

研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「CUS®指導員講座」	連携企業等:	日本カリスト協会
期間:	令和4年7月27日(水)11:00～16:00	対象:	学科教員
内容	パーソナルカリスト検定3級 指導員講座		
研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			
研修名:		連携企業等:	
期間:		対象:	
内容			

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 「ブライダル講師のための勉強会」	連携企業等: ウエディングビューティフル協会
期間: 令和5年8月実施予定	対象: 学科教員
内容: 未定	
研修名: 「ブライダル講師のための勉強会」	連携企業等: ウエディングビューティフル協会
期間: 令和6年3月実施予定	対象: 学科教員
内容: 未定	
研修名:	連携企業等:
期間:	対象:
内容:	

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「CUS®指導員講座」	連携企業等: 日本カリスト協会
期間: 日時未定	対象: 学科教員
内容: パーソナルカリスト検定2級 指導員講座	
研修名:	連携企業等:
期間:	対象:
内容:	
研修名:	連携企業等:
期間:	対象:
内容:	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、本校が自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図り、その説明責任を果たすこと、及びそれによって企業等からの理解と参画を得て、その連携協力による教育活動を推進することにより、職業教育の水準の維持向上が図られることを期して行うものである。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員からの「卒業生からの情報収集の他、企業の採用担当者との協力関係を強化が大切」との意見より、毎年度卒業生や人事採用の方を招き学内での企業説明会等を実施している。(コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は卒業生の訪問のみとした。)

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
山辺 太	水戸商工会議所	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	卒業生
吉田 剛	茨城ヨコハマタイヤ	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	卒業生
山本 浩二	社会保険労務士	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	地域住民
二川 泰久	株式会社 日東 代表取締役社長	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	企業等委員
大部 昇	サンライト旅行合同会社 相談役	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	企業等委員
篠原 勉	篠原税理士事務所 所長	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	企業等委員
小川 哲	大関税務会計事務所 公認会計士 税理士	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	企業等委員
田中 邦彦	カメラのタナカ 店主	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	企業等委員
藤田 卓也	株式会社 フジタビジネスマシズ 代表取締役	平成30年11月1日～令和5年10月31日(5年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.mito.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 令和5年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

情報提供に当たっては、企業等が求める情報を適宜に示していくことはもとより、学校が抱える諸問題についても適切な情報提供を行っていくことにより、企業等との信頼関係を深め、学校と企業等と双方向の情報交流の現実に向けた取り組みを行っていく。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要
(2) 各学科等の教育	各学科の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	その他の教育活動
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学費
(8) 学校の財務	別紙(財務状況)参照
(9) 学校評価	別紙(自己点検評価及び学校関係者評価)参照
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.mito.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 令和5年7月31日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			簿記論	基礎的な商業簿記の原理および知識の習得。	1・通	36	2	○			○		○		
2	○			簿記実習	簿記論で学習した記帳を中心に実務を理解する。	1・通	36	2			○	○		○		
3	○			マナー接遇基礎Ⅰ	相手に満足を提供するサービス、接遇について具体的な考え方、行動の仕方などの基本を総合的に学ぶ。	1・通	72	2	○			○		○		
4	○			マナー接遇基礎Ⅱ	相手に満足を提供するサービス、接遇について具体的な考え方、行動の仕方など応用を総合的に学ぶ。	2・通	36	2	○			○		○		
5	○			ビジネス概論Ⅰ	ビジネスの現場で良い人間関係を構築するために必要な意思伝達スキル、実務的、実践的な人材の育成について学習する。	1・前	18	1	○			○		○		
6	○			ビジネス概論Ⅱ	社会人として必要とされる社会常識、コミュニケーション、ビジネスマナーに加え相手の事を考えて行動できる気遣いを学習する。	2・通	36	2	○			○		○		
7	○			PC実習Ⅰ	基本的なビジネス文書やイラスト、図入りの文書・計算と関数を利用した表の作成、表の編集と絶対参照の利用やグラフ作成と編集、印刷レイアウトなどをマスターする。	1・通	36	2			○	○		○		
8	○			PC実習Ⅱ	様々な社内文書、社外文書の作成テクニックを身に付ける。プレゼンテーションの準備からリハーサル、本番までの流れをつかみ訴求力のあるスライド作成技術を身に付ける。	2・通	36	2			○	○		○		
9	○			色彩概論Ⅰ	ホテル・ブライダル業界で必要となる色彩知識の習得。	1・通	36	2	○			○		○		
10	○			色彩概論Ⅱ	色彩に関する応用力を身に付けるため、テーマに沿った研究発表を実施する。	2・通	36	2	○			○		○		
11	○			ブライダル総論Ⅰ	日本のウェディングの歴史から伝統・慣習、現在のブライダル事情を把握しプランナーとして必要な知識を身に付ける。	1・通	108	4	○			○		○		
12	○			ブライダル総論Ⅱ	婚礼儀式の多様化に対応できる幅広い知識の習得。	2・通	108	4	○			○		○		

13	○		ブライダル実務	裁縫の技術を習得し、ウェルカムベアなどのアイテムを作成。	2・後	18	1				○	○	○				
14	○		ドレス総論Ⅰ	和装、洋装の基本的な知識を学び、トータルコーディネーターできる人材を目指す。	1・後	36	2	○				○	○				
15	○		ドレス総論Ⅱ	和装、洋装の着付けから接客対応を学び、ドレスコーディネーター資格取得を目指す。	2・前	36	1				○	○	○				
16	○		ホテルビジネスⅠ	ホテルの成り立ちから、宿泊・料飲・宴会・調理部門について把握し、ホテルエとして必要な知識を身に付ける。	1・通	72	3	○				○	○				
17	○		ホテルビジネスⅡ	ホテル運営に関わるマーケティングや人事・総務部門などの知識を習得し、ホテル全体の理解を深める。	2・通	54	2	○				○	○				
18	○		ホテル実務Ⅰ	ホテルビジネスⅠの応用として、宿泊部門・宴会部門・料飲部門で必要な所作を実践的に学ぶ。	1・通	36	2				○	○	○				
19	○		ホテル実務Ⅱ	お客様のニーズを理解し、ホテルのマーケティングのついて学ぶとともに企画開発・広報・セールスを実践的に身に付けていく。	2・通	36	2				○	○	○				
20	○		ホテル・観光英語Ⅰ	英語を基礎から学び直し、海外のお客様へ英語での接客に慣れる。ホテル内での挨拶から道案内などの接客英語を習得する。	1・通	36	2				○	○	○				
21	○		ホテル・観光英語Ⅱ	接客英語の応用として、様々な場面でも使用できる英会話の習得を目指す。	2・通	36	2				○	○	○				
22	○		料飲接客サービス	レストランサービスに必要なサービススキルや食材・料飲に加え安全衛生の知識等幅広く学ぶ。	1・前	18	1	○				○	○				
23	○		おもてなし論	日本の魅力である和の接客基礎を身に付け、おもてなしの所作を身につける。	2・通	54	2				○	○	○				
24	○		観光基礎	観光産業・観光ビジネスの特性を知り、観光が企業にもたらす効果を学んでいく。	2・通	54	2	○				○	○				
25	○		イベントプロデュースⅠ	ブライダル・ホテルにおける校内イベントの企画・実施。	1・通	54	2				○	○	○				
26	○		イベントプロデュースⅡ	コミュニケーションスキル・判断力・対応力を身に付けるために様々なケースを想定した実技を中心に学習する。	2・後	36	1				○	○	○				
27	○		コーディネーター論	ホテル等の空間装飾やウエディングのテーブルコーディネーターを学び、応用するスキルを身につける。	2・通	36	2				○	○	○				

58																			
59																			
60																			
合計					40 科目					1800 単位 (単位時間)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：全科目を履修し63単位を取得する		1 学年の学期区分	2 期
履修方法：学年末試験、実習の成果、成果物の提出等、履修状況を総合的に勘定して行い、A, B, C, Dで評価し、Dは不合格とする		1 学期の授業期間	18 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。